



The power to do more

---

# Intel® vPro Technology 導入参考ガイド

## Remote KVM (iAMT10.0)

TechCenter



The power to do more

## はじめに

本資料は TechCenter のために作成された一般的な設定紹介の参考資料です。

この資料に基づいて設定いただく前に TechCenter に記載の、以下サポートに関する記載に同意してご活用下さい。

<http://www.jp.dell.com/japantechcenter/>

\*\*\*以下TechCenter より抜粋\*\*\*

Dell テックセンターのサイトへようこそ。このサイトは、Dell のユーザーの皆様は技術的な事柄についてディスカッションや情報交換をしていただくサイトです。皆様のディスカッションが進むようにデルの方からも 資料を提供させていただきますが正式な製品のサポートに関してはこのサイトの下部のサポートサイトへご連絡ください。デルは、本サイトの内容の真実性や有効性について責任を有するものではありませんので、ユーザーの皆様にてご判断いただきますようお願いします。

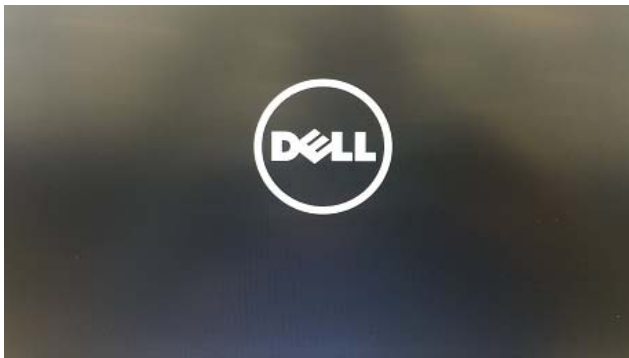


The power to do more

## MEBx の Basic セッティング

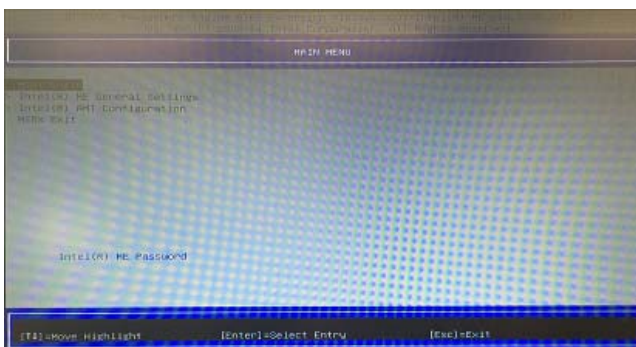
モニタ・キーボード・マウス等、起動に必要な機器が全て接続されている状態でコンピュータの電源を入れます。（又はコンピュータを再起動します）

Dell のロゴが表示されたら、すぐに <Ctrl> + <P> を押します。



OS のロゴが表示された場合、Microsoft Windows のデスクトップが表示されるのを待って、コンピュータをシャットダウンしてもう一度やりなおしてください。

MEBx コンフィグレーション・インターフェース画面が表示されます。  
MEBx Login を選択し、<Enter> を押します。



キーを押すタイミングが遅れて OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして操作を再実行してください。



The power to do more

## 1. デフォルト設定されている PW を変更する。

1. Intel ME Password フィールド（下記枠内）に「**admin**」と入力し <Enter> を押します。

※パスワードは大文字と小文字を区別します。

ME パスワードを変更します。デフォルトのパスワードは「admin」を入力します。<Enter> を押します。この後お客様の設定されたいPW に設定可能です。新しいパスワードには必ず次の要素を含めて下さい。

**POINT:** 英語キーボードとして認識されますので、配列に注意いただくのと、英語入力で入力可能な記号で設定下さい。

■ デフォルトパスワード（初期パスワード）は「**admin**」です

■ 設定変更の前にデフォルトパスワード（初期パスワード）を新しいパスワードに変更する必要があります

■ 新しいパスワードには次の要素が含まれていなければなりません

●パスワード例→Dell! 1 2 3

●パスワードの長さ:最低 8 文字最大 32 文字まで

●1 つの大文字 ('A', 'B', ... 'Z').

●1 つの小文字 ('a', 'b', ... 'z')

●数字 1 文字以上 ('0', '1', ... '9')

●" や , を除いた 特殊文字 1 文字以上:(e.g. '!', '\$', ';')注: "\_"(アンダーバー)はアルファベットとみなされるため、対象外です

●スペースキーは有効なパスワード文字ですが、パスワードが複雑になるため使用するべきではありません

※CMOS クリアすると 設定したパスワードは初期パスワード設定 (admin) へ戻ります。



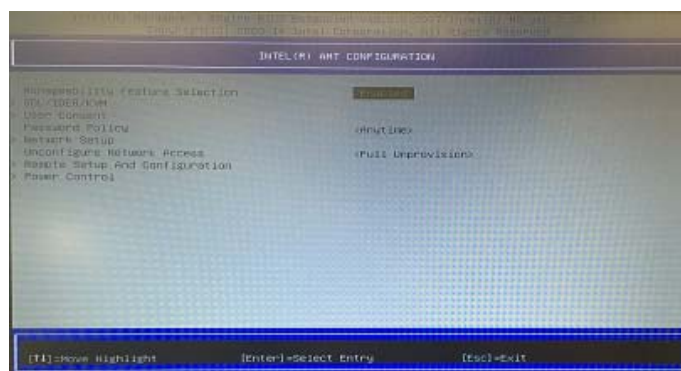
The power to do more

## 2. 基本的によく使う項目を設定します。

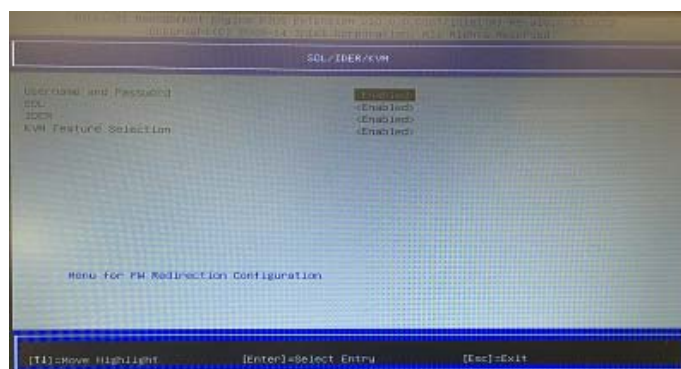
### Remote KVM の設定をします。

メインページで、**Intel AMT Configuration** を選択し **Enter** を押します。  
Intel (R) AMT Configuration のページに切り替わります。

1. SOL/IDER/KVM を選択して Enter を押します。



2. Username and Password の項目で Enter を押し Enabled を選択し Enter を押します。  
※このオプションでは、SOL/IDER セッションに対するユーザー認証を行います。





The power to do more

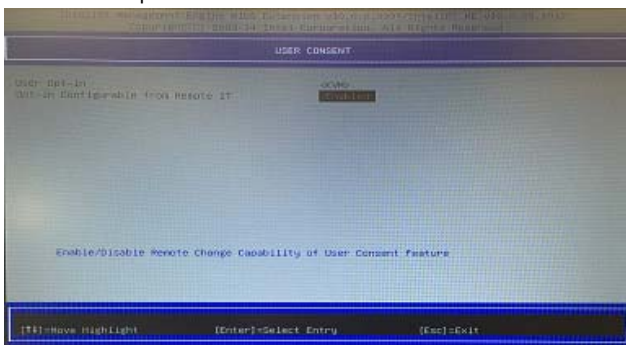
2. Username and Password の項目で Enter を押し Enabled を選択し Enter を押します。  
※このオプションでは、SOL/IDER セッションに対するユーザー認証を行います。
3. SOL の項目で Enter を押し、Enabled を選択し Enter を押します。
4. IDER 項目で Enter を押し、Enabled を選択し Enter を押します。
5. KVM Feature Selection 項目で Enter を押し、Enabled を選択し Enter を押します。
6. Legacy Redirection Mode 項目で Enter を押します。



The power to do more

### 3. KVM セッションを行う際のユーザー承認の設定をします。

1. ESCを押しひとつの前のメニューに戻ります。
2. User Consent を選択し Enter を押します。
3. User Opt-inの項目で Enter を押します。



次のオプションを選択することができます。

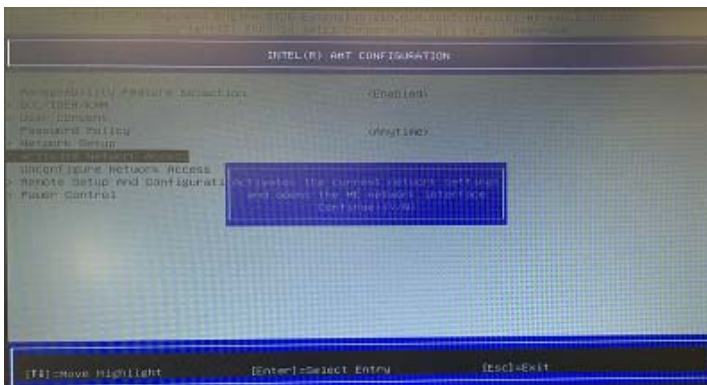
オプション	説明
None (なし)	リモートコンピュータが KVM リモートコントロールセッションを確立するのに、ローカルユーザーの同意は必要ありません。
KVM	リモートコンピュータが KVM リモートコントロールセッションを確立するのに、ローカルユーザーの同意が必要です。
All (すべて)	SOL、IDER、および KVM についてローカルユーザーの同意が必要です。

Opt-in Configurable from Remote IT の項目を選択し Enter を押します。

オプション	説明
Disable Remote Control of KVM Opt-in Policy KVM 選択ポリシーのリモート制御の無効化	このオプションは、ユーザー選択ポリシーをリモート管理者が選択できないようにします。この場合、ローカルユーザーのみがオプトインポリシーを制御できます。
Enable Remote Control of KVM Opt-in Policy KVM オプトインポリシーのリモート制御の有効化	このオプションは、ユーザーオプトインポリシーをリモート管理者が選択できるようにします。

1. ESCを押してひとつ前のメニューに戻ります。

2. Active Network Access を選択し Enter を押し、確認メッセージが表示されたら[Y]を押します。



MEBx の設定が完了しましたら、とりあえず、IP アドレスを確認して、次ページ以降に記載の管理用の Intel Manageability Developer Tool KitやReal VNC を DL いただき vPro で操作可能か確認いただくことをお勧めします。これらのソフトウェアは比較的容易に vPro の Remote KVM 操作が可能なソフトウェアです。

上記 ソフトウェアテストで問題なければ、本格的に導入される予定の管理ソフトウェア上で確認という順序で動作確認下さい。

※ 「Intel Manageability Developer Tool Kit で PC の状態を確認する」という参考ガイドは、TechCenterで提供しております。Intel® vPro Technology 導入参考ガイド Remote KVM (iAMT6.0) もしくは (iAMT7.0) の後半で記述しております。よろしければ参考にしてください。

どうぞ宜しくお願いいたします。